

令和6年度 第2回大垣市子育て支援会議 会議録

- 1 日 時 令和6年7月9日（火）13:30～15:15
- 2 場 所 大垣市役所4階 情報会議室
- 3 議 題 (1) 大垣市第三次子育て支援計画の令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画(案)について
 (2) 次期子育て支援計画に係る施策検討について
 ① 配慮を要するこども等への支援について
 ② こどもの貧困の解消に向けた対策の推進について
 ③ 児童虐待防止対策及びヤングケアラーへの支援について

4 出欠席の状況

(1) 出席委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職 等
学識経験者	光 井 恵 子	大垣女子短期大学幼児教育学科 学科長
	藤 岡 恭 子	岐阜協立大学 経済学部 教授
子育てに関し優れた識見を有する者	井 上 直 美	大垣市民生・児童委員協議会 主任児童委員会 会長
	早 野 雅 子	大垣市小中学校長会 南小学校 校長
	浅 野 弘 峰	大垣民間保育園連合会 みそぎ保育園 園長
	松 村 麻 里	大垣市PTA連合会 会長
	三 代 広 子	大垣市子ども会育成連絡協議会 会長
その他市長が適当と認める者	沼 口 諭	大垣市医師会 会長
	三 輪 正 直	大垣商工会議所 専務理事
	村 橋 真喜子	連合岐阜西濃地域協議会 局員
公募委員	松 好 和 子	

(2) 欠席委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職 等
子育てに関し優れた識見を有する者	平 野 宏 司	大垣私立幼稚園連合会 キートスガーデン幼稚園 園長
	大 橋 奈麻輝	社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会 事務局長
	安 田 典 子	特定非営利活動法人 くすくす 理事長
公募委員	西 脇 諭 美	

(3) 事務局：17名

毛利 正人（こども未来部長）

新森 信市（子育て支援課長）

高嶋 博一（子育て支援課長 こども家庭センター担当）

小林 晋（保育課長）

永井 康（子育て総合支援センター所長）

高木 康洋（子育て支援課 主幹）

箕浦 利仁（子育て支援課 主幹）

内山 良（子育て支援課 主幹）

渡邊 英佑（子育て支援課 主幹）

田中 宣光（保育課 主幹）

高木 明弘（保育課 主幹）

小泉 佳彦（男女共同参画推進室 主幹）

内藤 純子（保健センター 主幹）

田島 善之（社会教育スポーツ課 主幹）

上野 博行（学校教育課 主任指導主事）

松原 和彦（子育て支援課 主査）

服部夕里子（子育て支援課 主事）

5 傍 聴 3名

6 記録方式 要約

事務局	<会議冒頭あいさつ> ・議事進行については、会議規則第3条第2項の規定により、会長は、会務を総理し、支援会議を代表するとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。
会長	・委員の出席状況について、4名欠席ですが、出席者が過半数に達しているため、会議規則第4条第3項の規定により、会議を進行します。 ・会議の会議録は、市のホームページで公開しますので、ご承知おきください。 ・それでは議題に入ります。「議題(1)：大垣市第三次子育て支援計画の令和5年度事業実績及び令和6年度実施計画（案）について」説明をお願いします。
事務局	<「議題(1)：「大垣市第三次子育て支援計画の令和5年度事業実績及び令和6年度実施計画（案）について」説明>
会長	・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
A委員	・保育園のサポートスタッフの配置について、パート職員としては働けない

	<p>けれど、行事の時くらいなら協力できるよという潜在の保育士さんがいると 思っていて、常時の雇用は出来ないにしても、例えばファミリーサポ ートのように、会員登録してあって、必要な時に市や園から依頼があつてお 手伝いに行くといった形でなら可能という方も多く見えるのではないかな と思うので、一度検討いただけるとありがたいなと思いました。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のサポートスタッフについては、雇用して園務の補助をしていただ くものになるんですが、今ご意見いただいた、常勤では働けないけれども、 登録して、必要な時にお手伝いいただけるという形は、園の保育士の負担 軽減にもつながると思いますし、地域とのつながりも深まる取り組みにな るかと思いますので、まだ制度としてはありませんが、今後研究していき たいと思います。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業No.223「とまり木教室の運営」について、似たような事業をすでに実施 されているのではないかなと思うんですが、追加事業ということですので、 説明していただきたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のものですと、「ほほえみ教室」という適応指導教室がありまして、学 校復帰を目指したもので、学校に行くのが難しい子を対象としたものにな ります。今回の「とまり木教室」は、家族以外の大人や、社会のいろんな 方との接触が難しいお子さんを対象として実施しているもので、今後社会 に出ていくための機会をとということで始まったものになります。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業No.220「子どもの職業・社会学習体験機会の創出」について、大きな額 の予算が組まれているようですが、事業内容についてももう少し説明いただ きたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの事業については、こどもたちが職業体験できるイベントというこ とで、こどもたちが、市内にどんな事業者、企業があるのかを知り学ぶ機 会を作ること、そして企業の皆さんもイベントを通して自分の企業に誇り を持って働けるということで、大垣城ホールをメイン会場に実施を考えて いるところです。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業No.1～5に、保育園児や幼稚園児の推移が記載されていて、令和元年か

	<p>ら令和6年にかけて、減少傾向なのは仕方ないと感じているところですが、事業No.8「保育者の確保」に、保育士数が記載されていて、令和元年と令和6年を比べると約60人も減っています。その中で、今回事業No.222「保育園等サポートスタッフの配置」を実施頂けてありがたいと感じています。大垣市のみならず、全国的にも保育士が不足しているような状況ですので、そちらの方にも力を入れていただけることを嬉しく思っております。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見なしということですので、「議題(1)：大垣市第三次子育て支援計画の令和5年度事業実績及び令和6年度実施計画（案）について」は原案通り承認いたします。 ・続きまして、「議題(2)：次期子育て支援計画に係る施策検討について ①配慮を要するこども等への支援について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><議題(2)：次期子育て支援計画に係る施策検討について ①配慮を要するこども等への支援について 説明></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児への支援というところで、専門施設の方が手厚いケアを受けられるのはもちろんあると思うんですが、みんなと同じように園に通って、児童と触れ合う中で、笑ったり、反応したりといった成長があるので、園で医療的ケア児への支援を続けていっていただけることは、親さんにとっても、子どもにとってもとても良いことと思うので、継続して行っていただけのこと、大変ありがたいなと思いました。ただ一点、既に対応いただいていると思いますが、最終的に命に関わる場所にもなりますので、保護者の方の希望全てには添えない場合があるということをしつかりお伝えいただきたいと思います。 ・ひとり親家庭への貧困対策についてですが、支援のやりすぎも危険と感じ

	<p>ています。「ドコデモこども食堂」という取り組みを行っていて、本来はこどものための事業なのですが、蓋を開けてみたら、ひとり親の方で、彼氏と2人で行ったとか、母だけで行ったとか、こどもが置き去りになってしまっている事例もあります。一方で、二人親家庭でも旦那さんがまともに働いてくれないんだけど、子どものために別れられず、お母さんが頑張っても明日の食事に困っているような家庭もあります。国のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業も始まりますが、本当にひとり親を中心とした支援でいいのか、一度考える必要があるのかなと思っています。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいをお子さんで、小学校に上がると特別支援学校になってしまって、地域の子たちと一緒に居れないから、保育園までだけでも地域の子と過ごせるように、園に通いたいという声も聞いていて、全園でインクルーシブな保育をしていこうということで、今統合保育を実施しています。医療的ケア児については、医療行為が必要になりますので、保育士等が実施可能な特定行為に該当する医療的ケアができる環境を整えて、特定の園で進めています。年齢が上がってくると自然にケアが必要な部分が少なくなってくるお子さんもいらっしゃるの、一人一人の成長と、状態を見ながら、おっしゃられたとおり、命に関わる部分もありますので、適切に対応していきたいと考えております。 ・ひとり親家庭への支援について、実施する支援のすべてが子どものためになるのが一番と思いますが、様々な家庭の状況があることを踏まえて、こどものためになる支援に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのほかご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、続きまして、「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ②こどもの貧困の解消に向けた対策の推進について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ②こどもの貧困の解消に向けた対策の推進について」説明></p>

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料№3の(3)教育の支援の、就学援助についてですが、以前は申請に当たり、地域の民生委員の署名が必要になっていましたが、昨年から、個人情報保護の観点から、民生委員を介さず申請する形になりました。就学援助を申請する家庭すべてが心配なご家庭というわけではないですが、民生委員としては気にかけておいた方が良い家庭という考えだったのが、情報が入らなくなってしまって、個人情報の保護ももちろん大事なんですが、学校の方から、訪問してほしいご家庭について情報提供いただけたら対応していきたいと思っておりますので、提供いただけたらありがたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員さんの署名をなくしたことは了承しておりますが、ご協力いただけることはありがたいと思っておりますので、必要な支援があればということで、関係部局へ伝えさせていただきます。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・手厚く経済的支援をされていて、児童扶養手当の支給というのもありがたい施策だと思います。包括的に保護者の就労支援から教育の支援、妊娠期からの切れ目のない支援等、素晴らしい計画だと思います。 ・今後の展開の方向性で挙げられている、貧困家庭への学習支援についてですが、前回の調査結果の中でも、経済的負担として、学校外の教育費について、6割以上の方が負担が大きいと回答していると結果があります。全国的には公設の塾のようなものを市が運営している自治体もあり、小中学生で特に保護者がいない時間の学習をサポートできる場といったところを検討いただけたらありがたいなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援について、現在検討を進めさせていただいております、子育て支援課の方でも、大学受験料の負担軽減などを検討しているところでございます。他部署で検討している部分もありますので、連携しながら今後も進めていきたいと思っております。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話に関わるどころなんですけど、学習塾など、すでにその分野を専門にされている方もいるので、新たに開設するとか、今までやったことのない人がやるより、そういった既に実施しているところに、例えば月1回、だれ

	<p>でも来ていい日を設けてもらって、学習支援してもらおうという形の方がいいのかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親だけにお金を渡していいのかというところで、給付をするというより、こういった制度がありますよと周知したり、お金ではなく、実際制服など、子どもたちのためになるものをお渡しする形でもいいのではないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に開設するのではなく、既存の活動の活用というところで、こどもの居場所づくりに関しても、今やっている活動の一部をこどものために広げていただくことをお願いしているところでございます。学習支援についても、教員OBや、団体の方に、空いている時間や、活動の中で子どもたちへの学習支援をお願いできないかというところで、検討を進めております。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、続きまして、「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ③児童虐待防止対策及びヤングケアラーへの支援について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ②児童虐待防止対策及びヤングケアラーへの支援について」説明></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の展開の方向性として、「こどもからのSOSや相談を受け止める体制の整備」とありますが、実際にこどもが逃げ込める場所はあるのでしょうか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で開催されているこどもの居場所や、図書館などの公共施設で友達同士で遊んだり、話したりしていると聞いています。ただ実際逃げ込める場所といったところは現在はございません。

A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・追い詰められたときって、友達に相談できないと思うんですね。どこに相談したらいいか分からないということがあると思うし、こどもの居場所に行っている子も、他の子がいるところでは話しにくいこともあると思うので、実際逃げ込める、相談できる場所があるなら、そういったところを紹介できると良いのかなと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「189」という電話ツールがあって、お子さん自身がかけていただけるものがあるんですが、そこで相談ができ、実際対応している事例があります。あとは、学校にスクールカウンセラーと相談員がいますので、その方に相談いただくことができます。また、スクールソーシャルワーカーにも相談することができます。それ以外にも新しいSOSを出せるツールは必要になってくるかと思いますので、検討しているところです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見なしということですので、「議題(2)：次期子育て支援計画に係る施策検討について ①配慮を要するこども等への支援について ②こどもの貧困の解消に向けた対策の推進について ③児童虐待防止対策及びヤングケアラーへの支援について」は原案通り承認いたします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で本日の協議事項は終了となります。ご協力ありがとうございました。 ・全体を通してご意見やご質問などございませんか。
F委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児について、出生時から医療的な障がいを抱えた方が、どのようにすれば通園できるかなど、ロードマップのような、どういう連携をしていけばいいかというところを、病院の医療的ケア児の委員会などで作成して、横の連携を持ちながら対応しています。 ・学校などでは看護師の配置などが進んでいて、インスリン注射や人工肛門の管理を実施するなど、医療的ケア児が通学する環境の整備が進んできていると感じています。 ・ヤングケアラーの問題について、在宅医療で寝たきりの方がいらっしゃるとかってことになると、その在宅は進めていいのか、という話になって、

	<p>じゃあヤングケアラーがいないようにするには、みんな施設に入ればいいのかという話になってきてしまうので、ただヤングケアラーだけに注目して話をしているのかという問題があると思います。問題は、ヤングケアラーと呼ばれる方がどんな環境で生活を送れているかということと、日常生活に支障が出ているのは問題だと思いますが、外から勝手に判断して、この子はヤングケアラーだからなんとかしないといけないって言って動くと、本人は別に望んでいないのになってしまう場合もあります。一律にヤングケアラーがいけないということではなくて、困っている人にいかに手を差し伸べることができるかということを考えないといけないのかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待については、居場所を作ってあげたり、声を上げる場所を作っていく、環境を整えてあげることが必要かと思えます。
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する子どもへの支援ということで、学校で使用しているタブレットを用いて児童生徒一人一人の心身の健康状態について把握する仕組みについて検討とのことですが、他市では、タブレットで相談したい人を選んで相談できる取り組みをしているところがあるそうです。だれでも利用できるツールで、かつ相談できる人を選べるというのは子どもにとってもいいと思うので、ぜひ検討いただきたいですが、その負担が先生だけに集中してしまうのはいけないと思いますので、行政と連携してやっていただきたいと思います。 ・ヤングケアラーについて、子ども自身や親がヤングケアラーについて分かっていないというところもあるかと思えますので、啓発活動を行っていただいて、家庭、学校、地域など複数の視点で見ていくことが必要かと思えますので、そういった情報共有できる仕組みがあると良いのかなと思います。
H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児について、学校では看護師が特別介助員という形で配置が進んでいまして、昨年度までは訪問看護ステーションの方に来ていただいていたのが、今年度から2名の方に常駐いただける形になっていて、受け入れ態勢が整ってきているんですが、今まで医療的ケアを必要とする子が学校に来れなかったかというところではなくて、これまでは保護者の方が学校に来て対応いただいていた。その部分が特別介助員へ移行しつつあるという状況になります。

・医療的ケア児と言っても、その時にだけ医療行為が必要で、他は他の子と一緒に変わらず過ごせる子もいれば、車いすや、常時の見守りが必要な子など、一人一人違っておりますし、成長する中で変わってくることもあります。来年度新入学のお子さんで、すでにご相談や見学のご要望があつて対応させていただいているんですが、情報が必要な方のところにちゃんと届くことで、保護者の方や子ども自身がいろいろな選択肢の中から、自分が納得できるものを選べると思いますので、周知について、考えていかなければいけないのかなと思っております。

・今年度から始まった事業で、「スクールサポートスタッフの配置」がございます。子どもたちに勉強を教えるということはないんですが、子どもたちに必要な配布物の仕分けや、教材の準備、環境整備等の対応をしていただけるスタッフを配置いただけただけということで、大変ありがたく思っております。

・とまり木教室について、今までのほほえみ教室とはまた違って、家庭から外の社会に出れないとか、家族以外の人と関わりが持てないといったお子さんが、ちょっと行ってみようかなという一歩を踏み出せるような場で、この教室が開設されたことできっかけを掴めたという児童生徒も実際いますし、中にはペースをつかんで、毎日のように通っている子もいると聞きますので、こういった場を提供いただけるのは大変ありがたいと感じています。

I 委員

・団体で不登校支援を行っていて、ほほえみ教室やとまり木教室にも行けない子たちがまず立ち寄ってくれる、そんな居場所づくりもしています。今朝も学校から、活動に来ている子は出席扱いでというお話もいただきました。地域の居場所が不登校児の初めの一歩となれる場所になって、とまり木教室やほほえみ教室、そして学校に繋げていけたらいいなと感じております。

・市の窓口で、夏休みの留守家庭児童教室の受け入れ状況を確認されている方がみえて、その時にはもう締め切られていたそうなんですが、代替りの場所として提示されていたのがファミリーサポートで、夏休みに行き場をなくしている子がいるということを改めて感じています。ヤングケアラーについても、活動の中で子どもたちから、お母さんがいないとか、お父さんが仕事してないとか、小学生2人で留守番してるんだ、といった話を聞いています。やはりこどもの居場所は子どもからのSOSを拾う場所になり

<p>J 委員</p>	<p>ますし、聞いてもらえる場が身近にあることが必要かなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墨俣児童館の利用実績等を見ていて、やはり利用者数が多くて、旧大垣地域にもこういった場所がたくさんあるといいなと感じています。 ・潜在的なものが多くて、虐待やヤングケアラーなど、外からみると、実態とが違っていたりとか、核家族化進んで、地域離れしているのもあって、問題が見えづらくなっています。問題の出口をどこに設けるかが明確になればいいと思いますが、数値として結果が出る事ではないと感じていますので、そこが難しいところと感じます。 ・保育士数の減少について、やはり労働と給与が見合っていないんだろうと感じています。保育士に限らずですが、給与の見直しをして、労働に見合った賃金を検討していく必要があるのかなと思っています。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みなさんご意見ありがとうございました。 ・人で社会は成り立っていると思いますので、誰もが通う保育園や学校が中心になって教育していく必要があるかと思います。ただやはり先生たちの負担ではあると思いますので、行政や関係機関が入って行って、連携していけると、保育・学校現場で先生方が力を発揮できるかと思いますので、協力してやっていていただきたいと思います。 ・では、ここで議事進行を終わらせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・一点報告事項がございます。 <p>前回の会議で、こどもの意見反映の取り組みとして、こどもの意見交換会およびアンケートの実施について、報告させていただきました。その際に、委員の皆様から高校生も対象にしてはとご意見いただきましたことを踏まえ、高校生も対象に含め実施する方向で進めておりますので、報告させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回子育て支援会議を終了します。本日はありがとうございました。